

放送大学東京多摩同窓会公開講座 第34回卒業・修了記念講演会

オリンピックを「知る」とは？ ～「オリンピック依存症」への処方箋～



【講演概要】

2024 年は、パリ・オリンピックの年。競技の様子のテレビ放送を楽しみにしていられる方も多いと思います。事ほどさように、オリンピックは多くの方が興味を持ち、ご存じのこともたくさんあると思います。けれども、「実はよく知らない」、「そもそも、知らないことを意識していない」などということもまた多くあります。今回、オリンピックの歴史と現状について、オリンピックの原点に立ち返ることも含めて、いくつかトピック的に事柄を取り上げてお話ししたいと思います。それは、日本人々はオリンピック「好き」を通り越して「依存症」とまで言われることの意味を考え、よりよき方向の処方箋の基盤となります。

講師：尾崎 正峰（おざき・まさたか） 一橋大学名誉教授（スポーツ社会学）

講師プロフィール：東京、神楽坂生まれ。一橋大学、同大学院を経て一橋大学大学院社会学研究科教授。現在、一橋大学名誉教授、放送大学東京多摩学習センター所長（特任教授）。

研究領域は、スポーツ社会学、社会教育・生涯学習論。著書に、『越境するスポーツ』（編著）創文企画、『12 の問いから始めるオリンピック・パラリンピック研究』（共著）かもがわ出版、『東京オリンピック 1964 の遺産ー成功神話と記憶のはざま』（共著）青弓社、など。

高校時代、器械体操競技のインターハイ、国民体育大会の埼玉県代表。

自らの生涯学習の実践として、地元の市民オーケストラのコンサートマスターを 30 年以上務める。また、アイルランド音楽をメインレパートリーとする音楽グループ「フェアリー・ドクター」のフィドラーでもある。

【注】「フィドラー」とは、クラシックやジャズ以外の民族音楽などのジャンルでのヴァイオリン弾きのことを指します。たとえば、ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」の原題は「Fiddler on the Roof」です。

【日時】 2024 年 4 月 7 日（日）13：00 ～ 14：45

【場所】 放送大学東京多摩学習センター 4 階 講義室 1・2

【参加資格】 同窓会員、放送大学在学学生・卒業生、一般（申込要）

【入場料】 無料 【定員】 会場 60 名、Zoom 70 名（先着順）

【申し込み】 返信ハガキまたはメールで 4 月 3 日までに申し込みください

【主催】 放送大学東京多摩同窓会：申込先 ouj.tama2006@gmail.com

【後援】 放送大学東京多摩学習センター